

# 平成 28 年度 事業報告

## I 健診事業

高齢化の急速な進展に伴い疾病構造も変化し、疾病全体に占めるがんなど悪性疾患や生活習慣病である高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の疾病が増加し、これらの疾病が医療費に占める割合は約 3 分 1 となっている。国のがん対策推進基本計画(平成 24 年度から 28 年度)では、がん検診の受診率を 5 年以内に 50%達成を目標に掲げ、また特定健診等実施計画(平成 25 年度から 29 年度)では、特定健診受診率 70%、特定保健指導実施率 45%、メタボ減少率 25%達成を目標としており、県や市町村等一丸となって達成に向けて取組んでいるなか、事業団は公益財団法人として、受診率向上に向け、県民の利便性に考慮した日程や体制により各種健診・検査を実施するとともに、県民から一層信頼を得る機関として、より精度の高い健診・検査事業の推進に努めた。

平成 28 年度は市町村総合健診が大月市において全て市立病院での実施となったこと富士河口湖町で受診者数が大幅に減少したことなどにより、特定健診、各がん検診等の総合検診受診者総数が 463 人減少した。

### 1 住民健康診査

#### (1) 特定健康診査

高齢者の医療確保に関する法律に基づく特定健診等を各医療保険者(市町村国保、被用者保険)及び広域連合を実施主体とする県下 11 市町村より委託を受け、平成 28 年度は、40 歳から 74 歳を対象とした特定健診 9,849 人、75 歳以上の後期高齢者の健診 3,098 人、39 歳以下の若年者の健診 957 人合せて 13,904 人の一般住民の健診を実施し、前年度と比較して 512 人減少した。メタボリックシンドローム判定結果の内訳は、基準該当 1,334 人(9.6%)、予備群該当 1,072 人(7.7%)、非該当 10,559 人(75.9%)、判定不能 939 人(6.8%)であった。

#### 【特定健康診査等 ①メタボリック判定】

	市町村数	受診者数	メタボリック判定							
			基準該当		予備群該当		非該当		判定不能 (項目不足)	
平成 24 年度	11	12,978	1,143	8.8%	1,130	8.7%	9,847	75.9%	858	6.6%
平成 25 年度	12	13,928	1,319	9.5%	1,174	8.4%	10,553	75.8%	882	6.3%
平成 26 年度	12	14,935	1,388	9.3%	1,346	9.0%	11,300	75.7%	901	6.0%
平成 27 年度	12	14,416	1,393	9.7%	1,070	7.4%	11,022	76.5%	931	6.5%
平成 28 年度	11	13,904	1,334	9.6%	1,072	7.7%	10,559	75.9%	939	6.8%
比較増減	▲1	▲512	▲59	—	2	—	▲463	—	8	—

#### 【特定健康診査等 ②階層化判定】

	市町村数	受診者数	階層化(保健指導レベル)判定							
			積極的支援		動機づけ支援		情報提供		判定不能 (項目不足)	
平成 24 年度	11	10,375	318	3.1%	752	7.2%	9,304	89.7%	1	0.0%
平成 25 年度	12	10,198	233	2.9%	736	7.2%	9,221	90.4%	8	0.1%
平成 26 年度	12	10,892	224	2.1%	805	7.4%	9,863	90.6%	0	0.0%
平成 27 年度	12	10,447	213	2.0%	673	6.4%	9,561	91.5%	0	0.0%
平成 28 年度	11	10,806	324	3.0%	766	7.1%	9,716	89.9%	0	0.0%
比較増減	▲1	359	111	—	93	—	155	—	0	—

## (2) 特定保健指導

平成 28 年度、特定健診を実施した 11 市町村のうち 5 市町から特定保健指導を受託し、積極的支援 55 人、動機づけ支援 49 人の指導を実施した。

(平成 28 年度の特定保健指導は平成 29 年 8 月上旬まで継続中)

### 【特定保健指導実施状況】

	積極的支援					動機づけ支援				
	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28
上野原市	7	9	18	5	3	6	8	46	32	41
都留市	34	36	27	24	26	—	—	—	—	—
富士川町	9	13	11	10	10	—	—	—	—	—
富士河口湖町	5	9	1	6	8	15	17	15	10	8
南部町	1	5	8	2	8	—	—	—	—	—
大月市			—	2				11	2	
合計	56	72	65	49	55	21	25	72	44	49

※ 人数は、初回面接終了者数を計上

### 【特定保健指導結果】

平成 27 年度の実績で、最終評価終了者 88 人中メタボ脱出者は、7 人(8.0%)であった。

#### 平成 27 年度（市町村合計）

	積極的支援			動機づけ支援			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
初回面接終了者	39	10	49	29	15	44	68	25	93
途中終了者	3	1	4	1	0	1	3	2	5
最終評価終了者	36	9	45	29	14	43	65	23	88
メタボ脱出者	3	0	3	2	2	4	5	2	7
内服開始者	5	0	5	3	3	6	8	3	11

※ メタボ脱出者：最終評価時、腹囲・BMI ともメタボリックシンドローム判定基準以下を達成した者

※ 内服開始者：最終評価終了者中、支援期間内に高血圧・糖尿病・脂質異常症の内服を開始した者

## 2 各種がん検診等

平成 28 年度は市町村総合健診で大月市未受託、富士河口湖での受診者減少の影響により、各種がん検診等も減少となっている。

### (1) 胃がん検診

平成 28 年度は、県下 16 市町村の住民 9,982 人、県職員、県教職員及び事業所職員等 3,390 人合せて 13,372 人の検診を実施し、前年度と比較して 544 人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は 1,012 人、要精検率 7.6%で、追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 744 人、精検受診率 73.5%で、精密検査結果は、がん発見数 11 人(発見率 0.08%)であった。

#### 【胃がん検診実施状況】

(平成 29 年 3 月末 現在)

		市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検受診率	がん 発見数	がん 発見率
平成 24 年度		16	14,619	1,340	9.2%	1,012	75.5%	9	0.06%
平成 25 年度		17	14,221	1,428	10.0%	1,099	77.0%	7	0.05%
平成 26 年度		17	14,531	1,406	9.7%	1,053	74.9%	11	0.08%
平成 27 年度		17	13,916	1,221	8.8%	891	73.0%	9	0.06%
平成 28 年度		16	13,372	1,012	7.6%	744	73.5%	11	0.08%
内 訳	市町村	16	9,982	805	8.1%	634	78.8%	10	0.10%
	職域等	—	3,390	207	6.1%	110	53.1%	1	0.03%
比較増減		▲1	▲544	▲209	—	▲147	—	2	—

#### 【精検結果内訳（がんを除く）】

(平成 29 年 3 月末 現在)

	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	その他疾患	異常認めず
平成 24 年度	264	78	11	524	126
平成 25 年度	248	76	15	566	187
平成 26 年度	202	95	9	601	135
平成 27 年度	179	74	4	516	109
平成 28 年度	160	47	5	410	106

## (2) 肺がん検診

平成 28 年度は、県下 11 市町村の住民 14,923 人、県職員、県教職員及び市町村教職員等 3,596 人、合せて 18,519 人の検診を実施したが、大月市、富士河口湖町の影響と各市町村での減少もあり、前年度と比較して 879 人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は 365 人、要精検率 2.0%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 294 人、精検受診率 80.5%で、精密検査結果は、がん発見数 11 人(発見率 0.06%)であった。

また、喫煙者(喫煙指数 600 以上)等を対象とした喀痰細胞診は、住民、職域合わせて 299 人が受診し、精密検査を要する者はなかった。

### 【胸部検診実施状況】

(平成 29 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検 受診者数	精検受診率	がん 発見数	がん 発見率	
平成 24 年度	11	23,602	643	2.7%	539	83.8%	20	0.09%	
平成 25 年度	13	23,203	609	2.6%	494	81.1%	10	0.04%	
平成 26 年度	13	23,689	591	2.5%	447	75.6%	10	0.04%	
平成 27 年度	12	19,398	499	2.6%	392	78.6%	8	0.04%	
平成 28 年度	11	18,519	365	2.0%	294	80.5%	11	0.06%	
内 訳	市町村	11	14,923	329	2.2%	268	81.5%	10	0.07%
	職域等	—	3,596	36	1.0%	26	72.2%	1	0.03%
比較増減	▲ 1	▲ 879	▲ 134	—	▲ 98	—	3	—	

### 【肺がん喀痰細胞診実施状況】

(平成 29 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数 (検体数)	異常認めず	追加検査	要精検者数	精検 受診者数	がん 発見数	がん 発見率
平成 24 年度	10	247	241	0	0	—	—	—
平成 25 年度	11	311	304	0	1	1	0	—
平成 26 年度	11	320	310	0	1	1	1	0.313%
平成 27 年度	11	324	315	0	0	—	—	—
平成 28 年度	8	299	295	0	0	—	—	—
内 訳	市町村	8	238	236	0	0	—	—
	職域等	—	61	59	0	0	—	—
比較増減	▲ 3	▲ 25	▲ 20	0	0	—	—	—

※ 検体不良による判定不能(4件)があり検体数と結果数は一致しない

### (3)大腸がん検診

平成 28 年度、県下 11 市町村の住民 11,922 人、県職員、県教職員及び事業所職員等 4,996 人合わせて 16,918 人の検診を実施し、前年度と比較して 843 人減少した。

受診者のうち精密検査を要する者は 803 人で要精検率 4.7%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 450 人、精検受診率は 56.0%で、精密検査結果の内訳では、がん発見数 20 人(発見率 0.12%)であった。

#### 【大腸がん検診実施状況】

(平成 29 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成 24 年度	11	13,558	678	5.0%	424	62.5%	13	0.10%	
平成 25 年度	12	15,504	844	5.4%	544	64.5%	29	0.19%	
平成 26 年度	12	17,823	973	5.5%	505	51.9%	11	0.06%	
平成 27 年度	12	17,761	929	5.2%	552	59.4%	14	0.08%	
平成 28 年度	11	16,918	803	4.7%	450	56.0%	20	0.12%	
内 訳	市町村	11	11,922	575	4.8%	378	65.7%	18	0.15%
	職域等	—	4,996	228	4.6%	72	31.6%	2	0.04%
比較増減	▲ 1	▲ 843	▲ 126	—	▲ 102	—	6	—	

#### 【精検結果内訳（がんを除く）】

(平成 29 年 3 月末 現在)

	大腸ポリープ	大腸憩室	痔核・裂肛	その他	異常認めず
平成 24 年度	158	54	21	59	119
平成 25 年度	225	61	35	30	164
平成 26 年度	239	52	36	36	131
平成 27 年度	223	67	46	44	160
平成 28 年度	209	32	36	23	122

#### (4) 乳がん検診

平成 28 年度は、県下 14 市町村の住民 10,872 人、県教職員及び事業所職員等 1,206 人、合せて 12,078 人の検診を実施した。大月市未実施、富士河口湖町受診者減少の影響にもかかわらず、無料クーポンや著名人の乳がんマスコミ報道等も後押しとなり、前年度と比較して 657 人増加した。受診者のうち無料クーポン対象者は 1,101 人であった。

受診者のうち、精密検査を要する者 399 人で要精検率 3.3%であった。追跡調査の結果、精密検査受診者は 337 人、精検受診率は 84.5%で、精密検査結果は、がん発見数 23 人(発見率 0.19%)であった。

検診内訳は、マンモグラフィのみ 7,883 人、視触診・マンモグラフィ併用 1,214 人、乳腺超音波検査のみ 2,356 人、視触診・超音波検査併用 580 人、マンモグラフィ・超音波検査併用 34 人、視触診・マンモグラフィ超音波検査併用 10 人・視触診のみ 1 人であった。

#### 【乳がん検診実施状況】

(平成 29 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
平成 24 年度	11	8,709	372	4.3%	335	90.0%	18	0.21%	
平成 25 年度	13	9,390	358	3.8%	296	82.7%	16	0.17%	
平成 26 年度	15	11,266	399	3.5%	305	76.4%	8	0.07%	
平成 27 年度	15	11,421	402	3.5%	333	82.8%	19	0.17%	
平成 28 年度	14	12,078	399	3.3%	337	84.5%	23	0.19%	
内訳	市町村	14	10,872	345	3.2%	296	85.8%	21	0.19%
	職域等	—	1,206	54	4.5%	41	75.9%	2	0.17%
比較増減	▲ 1	657	▲ 3	—	4	—	4	—	

#### 【精検結果内訳 (がんを除く)】

(平成 29 年 3 月末 現在)

	乳腺症	線維腺腫	乳腺のう胞	その他	異常認めず
平成 24 年度	57	38	44	46	132
平成 25 年度	48	36	34	50	112
平成 26 年度	43	27	50	46	131
平成 27 年度	48	39	49	48	130
平成 28 年度	42	32	45	65	150

#### 【実施方法別】

(平成 29 年 3 月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
マンモグラフィ	7,883	281	3.6%	244	86.8%	12	0.15%
視触診・マンモグラフィ	1,214	63	5.2%	56	88.9%	3	0.25%
乳腺超音波	2,356	47	2.0%	32	68.1%	8	0.34%
視触診・超音波	580	7	1.2%	4	57.1%	0	—
マンモ・超音波	34	1	2.9%	1	100.0%	0	—
視触診・マンモ・超音波	10	0	—	—	—	—	—
視触診	1	0	—	—	—	—	—

## (5) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診を事業団施設にて、協会けんぽ対象事業所健診及びレディース健診として実施した。平成28年度は、受診者137人で、前年度と比較して37人減少した。精密検査を要する者はいなかった。

### 【子宮頸がん検診実施状況】

(平成29年3月末現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数
平成24年度	139	4	2.9%	1
平成25年度	162	0	—	—
平成26年度	186	0	—	—
平成27年度	174	0	—	—
平成28年度	137	0	—	—
比較増減	▲37	0	—	—

## (6) 腹部超音波検診

上腹部臓器の肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓を検査し、平成28年度は、16市町村の住民21,541人、事業所職員等911人合せて22,452人の検診を実施した。富士吉田医師会との連携による市町村での受診者数が伸びたことにより、前年度と比較して280人増加した。受診者のうち精密検査を要する者は754人で、要精検率3.4%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は504人、精検受診率は66.8%で、精密検査の結果発見されたがんは、肝臓7人、胆のう1人、腎臓1人、膵臓3人、その他2人の合計14人(発見率0.06%)であった。

### 【腹部超音波検診実施状況】

(平成29年3月末現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	
平成24年度	16	20,454	1,083	5.3%	749	67.7%	
平成25年度	17	20,253	746	3.7%	533	71.5%	
平成26年度	17	22,317	926	4.2%	634	68.5%	
平成27年度	17	22,172	675	3.0%	432	64.0%	
平成28年度	16	22,452	754	3.4%	504	66.8%	
内 訳	市町村	16	21,541	720	3.3%	498	69.2%
	職域等	—	911	34	3.7%	6	17.6%
比較増減	▲1	280	79	—	72	—	

### 【臓器別がん発見数】

(平成29年3月末現在)

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	その他	計	がん発見率
平成24年度	6	0	0	1	0	7	0.03%
平成25年度	6	1	2	1	2	12	0.06%
平成26年度	3	0	2	0	0	5	0.02%
平成27年度	4	0	0	0	1	5	0.02%
平成28年度	7	1	1	3	2	14	0.06%

【臓器別疾患数】

(平成 29 年 3 月末 現在)

	肝臓	胆のう	腎臓	膵臓	脾臓	その他	異常なし
平成 24 年度	192	230	71	85	1	88	75
平成 25 年度	109	105	56	102	2	87	60
平成 26 年度	158	124	56	103	1	45	85
平成 27 年度	110	87	30	81	0	31	64
平成 28 年度	145	92	27	94	2	45	48

(7) 前立腺がん検診 (血液 PSA 検査)

平成 28 年度は、県下 9 市町村の住民 3,334 人、事業所職員等 439 人、合わせて 3,773 人実施し、前年度と比較して 91 人減少した。受診者のうち精密検査を要する者は 256 人で要精検率 6.8%であった。追跡調査の結果、精密検査を受診した者は 159 人、精検受診率は 62.1%で、精密検査結果の内訳は、がん発見数 13 人(発見率 0.34%)でがん疑いの者 66 人であった。

【前立腺がん検診実施状況】

(平成 29 年 3 月末 現在)

	市町村数	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	がん発見数	がん発見率	前立腺がん疑い	
平成 24 年度	9	3,406	154	4.5%	98	63.6%	18	0.53%	24	
平成 25 年度	10	3,664	231	6.3%	162	70.1%	26	0.71%	42	
平成 26 年度	10	4,015	229	5.7%	128	55.9%	9	0.22%	49	
平成 27 年度	10	3,864	216	5.6%	120	55.6%	16	0.41%	44	
平成 28 年度	9	3,773	256	6.8%	159	62.1%	13	0.34%	66	
内 訳	市町村	9	3,334	241	7.2%	158	65.6%	13	0.39%	66
	職域等	—	439	15	3.4%	1	6.7%	0	—	0
比較増減	▲1	▲91	40	—	39	—	▲3	—	22	

【精検結果内訳・がん以外】

(平成 29 年 3 月末 現在)

	前立腺肥大	その他	異常認めず
平成 24 年度	27	13	16
平成 25 年度	39	12	43
平成 26 年度	35	12	23
平成 27 年度	27	12	21
平成 28 年度	31	7	27

## (8) フィブロスキャン検診

平成 28 年度は、早川町、富士川町、道志村、富士河口湖町の 4 町村で実施し、住民 218 人の検診を実施し、前年度と比較して 24 人減少した。

受診者のうち肝硬度値判定による要精検者は 12 人、肝脂肪量判定の要精検者は 43 人であった。

### 【フィブロスキャン検診実施状況】

	市町村数	受診者数	肝硬度値判定				肝脂肪量 (CAP) 判定			
			異常認めず	要観察	要精検	判定不能	異常認めず	要観察	要精検	判定不能
平成 25 年度	2	198	127	48	20	3	52	96	39	11
平成 26 年度	4	313	232	67	14	0	93	154	65	1
平成 27 年度	4	242	177	54	11	0	60	126	53	3
平成 28 年度	4	218	160	45	12	1	55	119	43	1
比較増減	0	▲24	▲17	▲9	1	1	▲5	▲7	▲10	▲2

## (9) 結核検診

平成 28 年度は、市町村住民、事業所職員及び高校・大学生等、合せて 40,330 人の検診を実施した。

大月市、富士河口湖町の影響、各市町村での受診者減にあわせ生徒・学生も減少し、前年度と比較して 1,150 人減少した。

受診者のうち精密検査を要する人は 1,289 人、要精検率 3.2%であった。追跡調査の結果、結核患者の発見はなかった。

### 【結核検診実施状況】

(平成 29 年 3 月末 現在)

	受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診者数	精検受診率	結核患者数	その他疾患	異常認めず
平成 24 年度	46,546	827	1.8%	557	67.4%	0	172	385
平成 25 年度	45,117	770	1.7%	540	70.1%	0	314	226
平成 26 年度	45,473	1,511	3.3%	1,058	70.0%	0	690	368
平成 27 年度	41,480	1,060	2.6%	682	64.3%	0	582	100
平成 28 年度	40,330	1,289	3.2%	694	53.8%	0	618	76
比較増減	▲1,150	229	—	12	—	0	36	▲24

※ H26 年度からの要精検者数増加は、胸部 X 線検査のデジタル化による画像診断で、呼吸器疾患以外の疾患（心肥大等）についての異常が判定可能となったため

### 3 職域健診

労働安全衛生法及び学校保健安全法に基づき市町村職員・教職員、県職員・教職員、大学(健康科学大学、県立大学、甲府看護専門学校等)、民間企業等を合わせて16,781人の健診を実施し、新規3事業所の獲得や小規模事業所を集約した健診での新規取込などにより、前年度と比較して241人増加した。

#### 【職域健診実施状況】

	市町村教職員	市町村職員	県教職員	県職員	大学・ 専門学校	民間企業等	合 計
平成24年度	1,585	1,046	2,132	2,877	2,786	7,404	17,830
平成25年度	1,572	437	1,639	2,745	2,818	5,935	15,146
平成26年度	1,575	443	2,044	2,533	2,836	6,824	16,255
平成27年度	1,582	437	2,093	2,526	2,825	7,077	16,540
平成28年度	1,580	497	2,051	2,483	2,833	7,337	16,781
比較増減	▲2	60	▲42	▲43	8	260	241

## 4 学校保健安全法に基づく検診検査

### (1) 心臓検診

平成 28 年度は、県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒の心電図検査 10,706 人、心音図検査 344 人を実施した。前年度と比較して、心電図検査は 368 人減少、心音図検査では 33 人減少した。

心電図検査の要精検者数は 633 人、要精検率 5.9%で、心音図検査の要精検者数は 8 人、要精検率 2.3%であった。

#### 【心電図・心音図検査実施状況】

	心電図検査			心音図検査		
	受診者数	要精検者数	要精検率	受診者数	要精検者数	要精検率
平成 24 年度	12,086	568	4.7%	461	37	8.0%
平成 25 年度	11,815	616	5.2%	405	13	3.2%
平成 26 年度	11,294	515	4.6%	416	22	5.3%
平成 27 年度	11,074	578	5.2%	377	21	5.6%
平成 28 年度	10,706	633	5.9%	344	8	2.3%
比較増減	▲368	55	—	▲33	▲13	—

### (2) 寄生虫卵検査

平成 28 年度は、県立学校、市町村小学校の児童、保育園等の幼児、職員合わせて 12,728 人の検査を実施した。法改正により 28 年度より寄生虫卵検査が必須項目から除外されたことが大きく影響し、前年度と比較して 27,690 人と大幅に減少した。

寄生虫卵検査の保卵者数は 4 人、保卵率は 0.031%であった。

#### 【寄生虫卵検査実施状況】

	受検者数	保卵者	寄生虫卵内訳		保卵率
			蟯虫	その他	
平成 24 年度	45,982	1	1	0	0.002%
平成 25 年度	44,752	3	3	0	0.007%
平成 26 年度	41,519	7	7	0	0.017%
平成 27 年度	40,418	2	2	0	0.005%
平成 28 年度	12,728	4	4	0	0.031%
比較増減	▲27,690	2	2	0	—

### (3) 尿検査

平成 28 年度は、県立学校、市町村小・中学校等の児童、生徒及び保育園の幼児等 43,866 人の検査を実施した。他機関への移行や少子化等の影響により、前年度と比較して 1,201 人減少した。

1 次検査の陽性者 1,048 人(陽性率 2.4%)のうち、2 次検査を 915 人検査し、陽性者は 238 人(陽性率 26.0%)であった。

#### 【尿検査実施状況】

	第 1 次検査			第 2 次検査		
	受診者数	陽性者数	陽性率	受診者数	陽性者数	陽性率
平成 24 年度	49,174	1,096	2.2%	923	201	21.8%
平成 25 年度	45,990	1,107	2.4%	968	223	23.0%
平成 26 年度	45,622	1,116	2.4%	1,005	228	22.7%
平成 27 年度	45,067	1,073	2.4%	959	236	24.6%
平成 28 年度	43,866	1,048	2.4%	915	238	26.0%
比較増減	▲1,201	▲25	—	▲44	2	—

	第 1 次検査 陽性者内訳				第 2 次検査 陽性者内訳			
	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血	糖	蛋白	潜血	蛋白・潜血
平成 24 年度	44	262	758	32	10	41	140	10
平成 25 年度	45	267	769	26	12	47	153	11
平成 26 年度	35	330	715	36	11	74	127	16
平成 27 年度	25	270	745	33	11	60	148	17
平成 28 年度	45	269	687	49	18	52	157	15

### (4) 血液貧血検査

平成 28 年度は市町村教委の児童、生徒等の 460 人の検査を実施し、前年度に比較して 1 人減少した。軽度異常者は 20 人(軽度異常率 4.3%)、要精検者は 4 人(要精検率 0.9%)であった。

#### 【貧血検査実施状況】

	受診者数	軽度異常者数	軽度異常率	要精検者数	要精検率
平成 24 年度	1,470	54	3.7%	8	0.5%
平成 25 年度	1,452	44	3.0%	3	0.2%
平成 26 年度	1,440	60	4.2%	3	0.2%
平成 27 年度	461	19	4.1%	0	—
平成 28 年度	460	20	4.3%	4	0.9%
比較増減	▲1	1	—	4	—

## Ⅱ がん対策

現在、我が国では、2人に1人ががんに罹り、3人に1人ががんで死亡すると言われている。山梨県においても、昭和58年からがんは死亡原因の第1位となり、全死亡者の3分の1を占めている。県は、平成24年4月から「山梨県がん対策推進条例」を施行し、総合的な対策を推進している。

健康管理事業団では、県の委託を受け「がん患者サポートセンター」の運営などさまざまながん対策を行う中、日本対がん協会山梨県支部の役割として、9月のがん征圧月間中に普及啓発などを集中的に展開した。

さらに、県や関係機関主催の行事に幅広く参加し、がん検診受診率向上に向けた啓発活動を積極的に行った。

### 1 がん相談

「がん患者サポートセンター」は医師の面接（要予約・不定期）や毎週火曜日に保健師、ピアサポーターの面接及び電話による三位一体でがん患者の相談にあたり、がん患者やその家族の不安や悩みの解消に努めた。

・医師相談 4件 ・保健師相談 68件 ・ピアサポーター相談 33件

### 2 「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016甲府」の開催

9月2日(金) 午前11時～9月3日(土) 午前11時に山梨県立大学池田キャンパスにおいて、24時間夜通しリレーウォーク等による、がん征圧・患者支援チャリティー活動「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016甲府」を山梨県では初めて開催した。

開催経費を除いた募金、参加費、広告料等は全額（公財）日本対がん協会に寄付され、寄付金は「がん患者や家族の支援」とがん新薬開発等の研究助成、若手医師の育成、がん検診率向上のための啓発活動等「がん征圧」のために使われる。

・主催 公益財団法人日本対がん協会  
リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016甲府実行委員会  
(実行委員会は、山梨県立大学と事業団等で構成)

・参加者 520名  
・募金額 1,232,977円

### 3 受診率向上のための普及啓発活動

・がん征圧月間街頭キャンペーン  
9月16日(金) 甲府駅周辺 参加者スタッフ 23名

・いきいき山梨ねりんピック  
9月24日(土) 小瀬スポーツ公園 参加者スタッフ 4名

・「検査と健康展」乳がん予防啓発キャンペーン  
11月13日(日) イオンモール 参加者スタッフ 1名

・県民の日記念行事  
11月12日(土)・13日(日) 小瀬スポーツ公園 参加者スタッフ 21名

### Ⅲ 普及啓発活動

#### 1 がん征圧月間のがん予防知識普及啓発

例年全国的に行われる9月のがん征圧月間行事として、がん予防に関する知識の普及啓発を図るラジオCM放送と新聞広告の掲載をするとともに、9月16日に甲府駅周辺において、県と県がん検診受診率向上プロジェクト企業5社、がん患者サポートセンターでがん相談にあたっているがん経験者等の協力のもと、がん検診啓発のチラシ付フィルターコーヒを配布し、がん征圧月間の周知とがん検診受診に向けた街頭キャンペーンを展開した。

そのほか、県下全市町村、医療機関、事業所等にごがん予防知識啓発用ポスター及びリーフレットを配布した。

#### 2 結核予防街頭キャンペーンの実施

結核予防週間（9月24日～30日）中に、全国一斉に展開される結核予防運動キャンペーンに併せ、本県においても県民の結核への関心を高めるとともに、結核予防に関する知識の普及啓発を図るため、9月28日に、JR甲府駅構内において、県及び婦人団体の協力のもと、結核予防普及啓発用資材及びカットバン付「STOP結核！」のロゴ入りポケットティッシュの配布などによる結核予防街頭キャンペーンを実施した。

#### 3 講演会の開催

「元気で歩こういつまでも」～健康寿命とロコモティブシンドロームについて～をテーマに 今井整形外科医院 副院長 藤原三郎 先生による講演会を開催した。

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）について理解を深めるとともに、日頃の生活習慣の中でできる予防について考え、健康寿命の更なる延伸を目指す機会とした。

また、山梨県医師会 理事 小俣二也先生による「かかりつけ医を持ちましょう」の講演も同時に行った。

- ・平成29年3月3日(金) 於：山梨県立図書館 2F 多目的ホール
- ・出席者 130名

#### 4 各種イベントへの参加

県や関係機関が主催するイベントに積極的に参加し、簡易健康診断、結核・生活習慣病予防などに関するパネル展示及び各種パンフレットの配布などを次のとおり実施し、県民の健康づくりに対する意識の高揚に努めるとともに、事業団のPRを行った。

##### (1) 公益財団法人結核予防会主催「COPD啓発イベント」

平成28年8月24日(水) 於：県防災新館1F 参加スタッフ 3名

- ・スパイロメーターによる肺年齢測定 体験者 94名
- ・COPDミニセミナー 聴講者 57名
- ・COPD予防啓発パンフレット等の配布

- (2) いきいき山梨ねんりんピック実行委員会主催「いきいき山梨ねんりんピック」  
平成28年9月24日(土) 於：小瀬スポーツ公園
- ・結核・がん予防啓発リーフレット及び冊子、がん検診受診勧奨資材等配布
  - ・複十字シール募金の展開
  - ・健康教育パネルの展示
- (3) 県臨床衛生検査技師会主催「検査と健康展」  
平成28年11月13日(日) 於：イオンモール
- ・乳がん視触診モデルを使用した触診法の指導
  - ・乳がん自己触診法リーフレット、乳がん予防冊子、がん患者サポートセンターパンフレット等配布
- (4) 県主催「第31回県民の日記念行事」  
平成28年11月12(土)・13日(日) 於：小瀬スポーツ公園
- ・医師、ピアサポーターによる「がん相談・健康相談」の実施
    - 1) 12日：医師相談 相談者4名(がん相談2名)
    - 2) 13日：ピアサポーター(がん経験者)相談 相談者3名(全てがん相談)
  - ・血圧、骨密度、活力年齢測定
  - ・乳がん視触診モデル体験
  - ・結核・がん予防啓発資材及び冊子、事業団パンフレット等配布
  - ・複十字シール募金の展開
  - ・健康教育パネルの展示

## 5 ホームページの活用

ホームページを活用し、事業団組織及び経営理念、事業案内による検診事業全般の内容紹介、財務諸表など広く県民に情報発信し、事業団をPRするとともに、各種がん検診、生活習慣病予防の正しい知識の普及啓発に努めた。

## 6 健康教育用資料の貸出し

がん・結核予防・生活習慣病予防ビデオ、パネル等を健康教育用資料として市町村並びに関係各機関へ配布、貸出しを行い、がん・結核予防・生活習慣病予防に対する認識と検診の重要性について普及啓発を行った。

## 7 その他広報資料の配付

広報誌「事業団だより」を発行するとともに、結核予防会出版の「複十字」「健康の輪」、日本対がん協会出版の「対がん協会報」等を広報資料として市町村及び各関係機関等へ配付し、健康に関する知識の普及啓発に努めた。

## IV 研修事業

- 1 当事業団は(公財)結核予防会、(公財)日本対がん協会、(公財)予防医学事業中央会のそれぞれの山梨県支部である。

各検診事業の充実を図るため、当該3団体が主催する研修会、協議会等に職員を参加させた。

	名 称	開 催 月 日	参加人員
結核 予 防 会	結核予防会ネットワーク会議	7月29日	1人
	結核予防会ブロック会議	9月13日	1人
	平成28年度関東甲信越支部ブロック会議(新潟県)	11月11日～12日	2人
	平成28年度全国支部事務局長会議・大規模災害対策委員会	2月24日	1人
日 本 対 が ん 協 会	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016 茨城	5月21日～22日	2人
	平成28年度全国事務局長会議(京都府)	9月8日	1人
	平成28年度がん征圧全国大会(京都府)	9月9日	1人
	平成28年度関東甲信越支部連絡協議会(群馬県)	10月25日	2人
予 防 医 学 事 業 中 央 会	平成28年度第1回全国運営会議	6月30日	1人
	平成28年度予防医学事業推進関東甲信越地区会議(埼玉県)	10月13日～14日	3人
	平成28年度第2回全国運営会議(石川県)	10月20日	1人
	第60回予防医学事業推進全国大会(石川県)	10月21日	1人
	平成28年度保健指導研修会	12月15日～16日	3人
	尿検査研修会	1月26日～27日	1人
	平成28年度51回予防医学技術運営会議(広島県)	1月22日	1人
	平成28年度51回予防医学技術研究会議(広島県)	1月23日	1人
平成28年度全国業務研修会(山梨県)	2月9日～10日	7人	

- 2 各種検診の高度化、多様化に対応するため、各関係団体等が主催する各種学会、研修会等へ職員を参加させた。

名 称	開 催 月 日	参加人員
〈業務部〉		
産業医・保健師等のストレスチェック実施者に対する研修	10月16日	1人
相互連携型システム見学・セミナー(愛媛県支部)	1月19日～21日	3人
〈健診部・検査課〉		
第57回日本臨床細胞学会総会(春期大会)	5月28日～29日	1人
第71回細胞検査士教育セミナー	8月27日～28日	1人
第48回日本臨床検査自動化学会大会	9月22日	1人
第28回日本超音波検査学会関東甲信越地方学術集会	10月22日～23日	1人
〈健診部・放射線課〉		
第24回日本CT検診学会学術集会(徳島県)	2月2日～4日	1人

- 3 県内の8つの検診機関等で構成する山梨県検診実施機関連絡協議会が平成29年3月2日に開催され、事業団もこれに参画し精度管理向上に向けた諸課題に取り組んだ。

## V 会議の開催

### 1 理事会・評議員会

- (1) 平成28年4月22日 第1回「理事会」(決議省略)  
役員候補者の決定等について可決承認された。
- (2) 平成28年5月10日 第1回「評議員会」(決議省略)  
役員を選任等について可決承認された。
- (3) 平成28年6月7日 第2回「理事会」 於 山梨県医師会6F会議室  
平成27年度事業報告、収支決算報告、平成28年度補正予算(案)、役員候補者の決定、平成28年度定時評議員会の開催について審議が行われ、可決承認された。
- (4) 平成28年6月23日 第2回「評議員会」 於 山梨県医師会6F会議室  
平成27年度事業報告、平成27年度収支決算報告、役員候補者の辞任及び選任等について審議が行われ、可決承認された。
- (5) 平成28年6月23日 第3回「理事会」(決議省略)  
役員を選定、理事への使用人職務の委嘱について可決承認された。(決議省略)
- (6) 平成29年3月23日 第4回「理事会」 於 山梨県医師会館6F会議室  
平成29年度主要事業・課題、事業計画(案)、収支予算(案)、就業規程の改定、準職員就業規則の制定、パートタイマー就業規則の制定、事務局長の任命、役員候補者の決定、評議員会書面決議の承認等について審議が行われ、可決承認された。

### 2 経営評価委員会

事業団の自主的な運営体制の確立を目的とし、今後の経営状況や経営強化の実施状況について適切な評価を行うため、外部の経営専門家として医師、税理士等3名を構成メンバーとした、経営評価委員会を平成29年2月14日に開催し、事業団の経営状況、新規事業等について委員の方々から意見をいただいた。

## VI 救急医療情報センター運営業務

当センターは、平成元年4月1日から、全県ネットワークの医療情報システムの開始に伴い、県から同システムの業務委託を受けて、医師会をはじめ、医療機関並びに各市町村などの協力を得ながら、適切な医療情報の提供に努めている。平成28年度の救急案内件数は 19,334件で、前年度と比較すると紹介件数は若干減少したが概ね同様な推移を示した。

現在、24時間体制で、県民からの医療機関及び当番医の照会に対し、適切な情報提供を行う業務を実施している。

### 1 業務内容

- (1) 情報の収集業務（医療機関に設置された端末装置による応需情報の収集）
- (2) 情報の提供業務（患者の症状、発生場所に応じた適切な医療機関の情報提供）
- (3) 各種統計の作成業務

### 2 年度別案内件数

(件)

年度	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
件数	2,561	3,693	4,446	4,618	5,405	5,905	6,358	7,585	7,133	8,186
年度	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
件数	9,465	11,292	12,940	12,267	12,900	13,844	14,905	15,384	15,109	16,145
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計	
件数	21,254	19,368	18,917	19,333	18,642	19,687	19,656	19,334	346,332	

### 3 案内状況

(件)

種 別		平成27年度	平成28年度
救急医療情報センター案内件数		19,656	19,334
受付時間別案内件数	深夜（0時～8時）	2,420	2,510
	日中（8時～18時）	10,054	9,603
	準夜（18時～24時）	7,182	7,221
診療科目別案内件数	内 科	6,475	6,946
	小 児 科	2,516	2,424
	外 科	1,941	1,760
	整 形 外 科	2,816	2,879
	眼 科	1,151	1,045
	耳鼻咽喉科	1,274	995
	歯 科	1,256	1,201
	脳神経外科	594	676
	皮 膚 科	520	564
	産 婦 人 科	177	168
	泌 尿 器 科	238	211
	精神神経科	83	65
	そ の 他	615	400
計	19,656	19,334	